

1 沿革

- 昭和24年5月 国立学校設置法による横浜国立大学の設置により、附属図書館が設置された。
- 10月 学芸学部分館、経済学部分館及び工学部分館が設置された。
- 昭和25年3月 附属図書館規則を制定した。
- 昭和26年4月 学芸学部分館立野分室が設置された。
- 昭和28年4月 学芸学部分館立野分室が学芸学部横浜分館と改称された。
- 昭和39年5月 工学部分館が大岡地区に竣工した。
- 昭和41年4月 学芸学部の名称変更に伴い、学芸学部分館を教育学部分館、学芸学部横浜分館を教育学部横浜分館と改めた。
- 昭和46年3月 教育学部横浜分館を廃止した。
- 昭和47年4月 横浜国立大学附属図書館運営委員会を設置した。
- 昭和49年6月 中央図書館が常盤台地区に竣工 (RC4F 3,957 m²) した。
経済学部分館が経済学部研究棟内に竣工 (RC2F 1,290 m²) した。
- 昭和49年9月 本館、教育学部分館及び経済学部分館が常盤台地区に移転した。
- 昭和51年4月 附属図書館規則の全面改正に伴い、各分館を廃止し、教育分室、経済・経営分室及び工学分室を設置した。
附属図書館運営委員会規程、附属図書館利用規程及び附属図書館長選考規程を施行した。
事務組織が統合され、事務部課制が実施された。
- 昭和51年10月 「館報」を創刊した。
- 昭和54年2月 電算機(ACOS 200)を導入した。
- 昭和54年3月 工学分室が常盤台地区に竣工 (1,930 m²) した。
- 昭和54年4月 雑誌受入業務のオンライン処理を開始した。
- 昭和56年4月 附属図書館規程を一部改正し、従来の中央図書館及び各分室を、中央図書館 (教育科学・人文科学研究フロアを含む。)、社会科学系研究図書館及び理工学系研究図書館に改めた。
- 昭和60年7月 中央図書館2号館増築工事 (3,492 m²) が竣工した。
- 昭和62年1月 新電算機システム (NEC150/78VS) を導入した。(業務用パッケージ LICSU)
- 3月 学術情報センターに接続した。
- 昭和63年2月 一般市民利用への対応要項を策定した。
- 昭和63年12月 電算機システムを更新した。(NEC3100/70A)
- 平成4年4月 学術情報センターILLシステム (NACSIS-ILL) 稼働に伴い、オンラインによる図書館間相互利用サービスを開始した。
- 平成5年4月 社会科学系研究図書館に「社会科学系学術雑誌フロア」及び保存書庫を設置した。
- 9月 蔵書冊数が100万冊を突破した。
- 10月 中央図書館の土曜日開館を開始した。
- 平成6年3月 保存書庫 (社会科学系研究図書館) に集密書架を設置した。
- 7月 インターネット及び電話回線によるOPACサービスを開始した。
- 平成7年3月 CD-ROM サーバシステムを導入した。(平成11年度廃止)
- 12月 電算機システムを更新した。(業務用パッケージ LINUS/U)
- 平成8年3月 入退館管理システムを導入した。
- 7月 ホームページの試験運用開始
- 11月 学術情報センター学術雑誌目次速報データベース形成事業への参加
- 平成9年2月 インターネット用パソコン7台増設 (総合情報処理センターから移設)
- 7月 学内発行学術雑誌目次情報検索システムの実施 (平成17年度終了)
- 10月 理工学系研究図書館の土曜日開館を開始した。
- 平成10年1月 「横浜国立大学附属図書館沿革誌」の刊行
- 4月 総合情報処理センターの協力 (パソコン27台移設) によりマルチメディアパソコンコーナーを設置した。
- 平成11年4月 中央図書館、理工学系研究図書館の平日夜間開館を1時間延長した。
WEB対応CD-ROMサーバシステム (平成20年度廃止) 及び画像データベースサーバ (平成22年度廃止) を導入した。
- 5月 中央図書館に国際交流コーナーを設置した。
- 12月 電算機システムを更新した。(業務用パッケージ NALIS)
- 平成12年3月 「附属図書館のトータルデザインに関する調査研究プロジェクト」(平成11年度実施) 報告書を学長に提出した。
- 4月 コンソーシアムによる電子ジャーナルサービスを開始した。
- 5月 学内LAN利用のオンライン文献複写申込み (ネットオーダー) を開始した。
中央図書館に放送大学視聴コーナーを設置した。(平成19年度廃止)
- 10月 情報リテラシー教育の一環として図書館主催による総合領域「知の回廊」(平成12年度後期) を実施した。
- 11月 「横浜国立大学中央図書館施設基本計画」を策定した。

- 平成13年6月 中央図書館新営・改修工事が着工された。
- 11月 「横浜国立大学附属図書館における情報リテラシー教育のあり方《グランドデザイン》」を策定した。
- 平成14年11月 中央図書館新営・改修工事が竣工（12,231㎡）した。
- 平成15年4月 中央図書館がリニューアルオープンした。
- 5月 中央図書館竣工記念式典・祝賀会を挙行了した。
- 平成16年4月 中央図書館にシラバス掲載図書コーナーを設置した。（平成19年度廃止）
- 一般市民（県内在住・在勤・在学）への貸出サービス（要「学外利用登録」）を開始した。
- 7月 中央図書館及び理工学系研究図書館の休日開館（授業期間中の日曜日・祝日）を開始した。
- 10月 本学卒業生等への貸出サービス（要「学外利用登録」）を開始した。
- 中央図書館メディアホール及び情報ラウンジを授業期間中の土・日・祝日にも講演会、展示場として利用可能とした。
- 12月 図書館業務用電算機システムを更新した。（業務用パッケージ NALIS）
- 平成17年1月 中央図書館の自動貸出装置が更新（1台）・増設（1台）されて2台となった。
- 2月 オンライン・リクエストサービス（貸出中図書予約、貸出・予約状況確認、ILL 文献複写・図書借用申込）を開始した。
- 3月 神奈川県立川崎図書館との連携協力（巡回連絡車を利用した相互貸借）に関する覚書に調印した。
- 中央図書館の土曜日・日曜日・祝日開館時間を30分延長した。
- 4月 神奈川県立川崎図書館と相互貸借（無料）サービスを開始した。
- カラーコピーサービスを開始した。
- 中央図書館に教科書（県内の小・中学校で使用）コーナーを設置した。
- 11月 図書館利用者アンケート調査を実施した。
- 平成18年4月 事務組織改編に伴い、図書館事務部が廃止され、事務局に図書館・情報部が設置された。
- 5月 神奈川県立川崎図書館の巡回車により神奈川県立図書館所蔵図書の貸出サービスを開始した。
- 7月 「横浜国立大学学術情報リポジトリ運営委員会規則」「横浜国立大学学術情報リポジトリ運営指針」が定められた。
- 10月 中央図書館に新書コーナーを設置した。（平成25年度廃止）
- 11月 （社会科学系）総合研究棟Ⅰの改修に伴う社会科学系研究図書館の改修工事が着工された。
- 平成19年3月 神奈川県立図書館との相互協力協定調印式が行われた。
- 横浜国立大学学術情報リポジトリを試験公開した。
- 4月 社会科学系研究図書館がリニューアルオープンした。
- 神奈川県内図書館情報ネットワーク「KL-NET」に加入した。
- 中央図書館に市民ボランティア（2名）を受け入れた。
- 平成20年3月 中央図書館及び理工学系研究図書館の入館管理システムを更新した。併せて、中央図書館の退館システムとメインカウンターレイアウトを変更し、エントランスのイメージを刷新した。
- 情報基盤センターにより、新たに中央図書館2階リフレッシュルーム、3階パノラマ閲覧席、理工学系研究図書館1階閲覧席に無線LANアクセスポイントが設置された。
- 中央図書館メディアブースの放送大学コーナーを廃し、衛星放送視聴のための設備を整えた。（平成25年度廃止）
- 4月 緊急地震速報の放送設備が設置された。
- 10月 横浜国立大学学術情報リポジトリを正式公開した。
- 平成21年12月 図書館計算機システムを更新した。（業務用パッケージ NALIS）
- 平成22年3月 中央図書館書庫、集密書架の資料再配置を行った。
- 中央図書館3階AVエリアの視聴覚機器を更新した。
- 4月 図書館ホームページでの、メディアホール及び情報ラウンジの施設予約サービスを開始した。
- 6月 大学ウェブサイトの全面リニューアルに伴い、図書館ホームページをリニューアルし、公開した。
- 9月 図書館ホームページでの、ワーキングスタジオの施設予約サービスを開始した。
- 平成23年4月 情報基盤センターにより、新たに中央図書館2階及び3階のワーキングスタジオ前に無線LANアクセスポイントが設置された。
- 10月 中央図書館の8時40分開館の試行を開始した。
- ラーニング・アドバイザー（LA）の運用を開始した。
- 平成24年4月 中央図書館の8時40分開館を正式に開始した。
- 平成25年4月 中央図書館3階にアクセスコーナー（英語多読本コーナー）を設置した。
- 11月 中央図書館2階にグループ学習エリア（ラーニングcommons）を設置した。
- 平成26年3月 千葉大学、お茶の水女子大学、本学の三大学の学長が、図書館間連携の申合せをとりまとめた。
- 中央図書館2階にYNU プラウド卒業生文庫を設置した。
- 中央図書館2階のグループ学習エリアの拡充、3階ワーキングスタジオの増設、3階AVブースの改修及び視聴覚資料の3階開架式AV資料架への再配置、理工学系研究図書館1階の語学学習室の設置を行った。
- 平成26年9月 国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用を開始した。
- 平成27年1月 図書館業務システムを更新した。（業務パッケージ iLiswave-J）